

令和5年度 全国学力・学習状況調査
【三田市】の結果速報
(令和5年4月18日実施)

三田市教育委員会

結果（本市の全体的な状況）をお知らせします

令和5年4月18日に「全国学力・学習状況調査」を行いました。

1 調査の目的

この調査は、文部科学省として次の3点を目的として実施しています。

- ◆ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◆ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる
- ◆ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

全国学力・学習状況調査はすべての学力を測るものではありませんが、調査して得た結果の活用を大切に、教育行政及び学校現場が、今までの取組の成果と課題を把握するとともに、今後の取組に活かしていくことを目指します。なお、調査結果については、学校間の序列化や過度な競争等につながらないように、また正常な教育活動がゆがめられないことがないように慎重に取り扱います。

2 本市における当調査の実施状況について

(1)実施日 令和5年4月18日(火)

ただし、中学校英語「話すこと」に関する調査(口述式)については、4月19日(水)から5月26日(金)までの間で文部科学省が指定した日に分散して実施。

(2)調査対象 小学校6年生(市内20校1005名)、中学校3年生(市内8校843名)

(3)調査内容

① 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・ 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実施し評価・改善する力等

※調査問題では、上記2点(知識、活用等)を一体的に問う

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・ 児童生徒に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 学力調査結果について

三田市では、今年度も各教科及び領域の平均正答率は、小数点以下を四捨五入した整数値で公表します。ただし、各設問の正答率及び質問紙の数値については、従来通り、小数点以下第1位の数値を公表します。

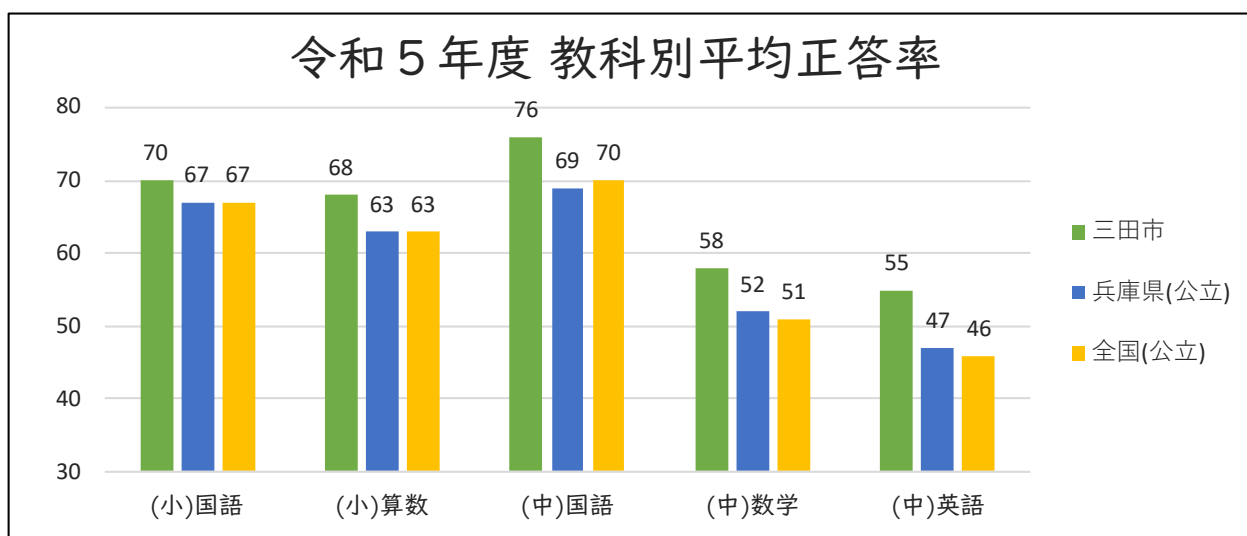
(1)概要

本市児童生徒の国語、算数・数学、英語は、全国(公立学校)の平均正答率をすべて上回り、学力の定着は良好な状況と言えます。

特に、中学校英語(全国平均より+9ポイント)、中学校数学(全国平均より+7ポイント)、中学校国語(全国平均より+6ポイント)が良好でした。

令和5年度 教科別平均正答率(%)

教科	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
三田市	70	68	76	58	55
県(公立)	67	63	69	52	47
全国(公立)	67	63	70	51	46
全国比	+3	+5	+6	+7	+9



4 今後の対応について

市教育委員会は、「三田市学力向上推進委員会」を開催し、市全体の結果分析と改善方策の検討を行い、市全体の概要と改善方策について、12月を目途に市のホームページに掲載する予定です。

三田市学力向上推進委員会について

① 日時 第1回 令和5年 8月18日(金)

第2回 令和5年 10月19日(木)

② 構成員 大学教授

三田市小中学校国語、算数・数学、英語の各代表管理職及び担当教員代表

三田市教育委員会指導主事